

卓話講師：書家 秋葉生白様
卓話演題：「書のある生活」

東京港醸造株式会社 代表取締役 寺澤 善実様 「日本酒の過去・現在・未来」 4月9日



東京港醸造の歴史は古く、1812年に現在の場所(東京芝)で造り酒屋『若松屋』を創業したのがルーツです。当時、この付近には薩摩藩邸があり、若松屋は薩摩藩の御用商人でした。酒蔵には奥座敷があり、西郷隆盛、勝海舟、山岡鉄舟といった幕臣も頻りに訪れていました。江戸無血開城を目指した武士たちの密談の場としても使われたと聞いています。

酒蔵は1909年に閉業しましたが、七代目現当主がこの地で再起を志しました。

私は京都出身で、もともとは黄桜酒造に杜氏として勤めていました。2003年、京都の文化

を東京に広める目的で、会社がお台場に約52㎡の醸造所を作った時に醸造責任者として派遣されました。その際に見学にいらした若松屋現当主から、「東京のビルで酒造りができないか」と相談を受け、若松屋復活への熱意に打たれ、ともに活動することを決意しました。しかし、酒類製造免許の取得は容易ではなく、2011年に会社を興し、2016年によく免許を取得。伝統ある若松屋の芝の地で、コンパクトな日本酒造りが始まりました。

現在、「日本酒ブーム」とは言われていますが、酒蔵の

置かれている環境としては、「市場の縮小(170万ℓ〈昭和48年〉→42万ℓ〈令和2年〉)」「期間生産による大量生産」「過酷な労働環境」「大規模施設や昔ながらの機器の維持困難」など、多くの問題を抱えています。

小スペース・環境配慮型の酒造りであるコンパクト醸造なら、期間生産や大規模施設は不要です。実際、東京港醸造はわずか171㎡、港区の狭小ビル内にあります。都心の限られた空間でも、洗米から蒸米、麴造り、発酵、瓶詰めまで、すべての工程を実施できることを実証しました。朝搾った日本酒をそのまま瓶に詰めて出荷する「直汲み今朝搾り方式」を採用しており、そのため酒蔵には貯蔵タンクはなく、夕方には搾りたての日本酒を味わえるのが醍醐味です。1週間の出荷数は1升瓶で約300本。使用している水は“東京の水道水”にこだわっています。東京都の水道水は高度浄水処理が施され、世界的にも高品質な水として知られています。また、酒造りに支障をきたす鉄分やマンガンを含まないため、日本酒造りに適しています。

使用している酵母は、明治時代に単独純粋培養された「江戸酵母」に加え、2018年から取り組んできた採取技術により生まれた、「江戸にゆかりのある清酒酵母」や「渋谷栄一先生ゆかりの清酒酵母」などがあります。それぞれの蔵に合った酵母の提案・開発を行い、多彩な味や香りの清酒が生まれています。

そしてこのノウハウと経験を活かし、現在は地方や限界集落とされる地域でもコンパクト酒造が行われています。コンパクト設計のため、低予算・小スペースでの導入が可能であり、地域の特性に合わせたコンサルティングも実施しています。

麴を造る製麴機は小型の冷蔵庫サイズで、ほかにタンクと麴、蒸し器があれば日本酒を醸造できます。『クラフト蔵工房』は畳2枚分のスペースがあれば、どなたでも酒蔵を持つことができます。コンテナ仕様のため移動も可能で、設置場所も選びません。

日本の伝統文化を国内外に発信する一環として、醸造工程のリアルタイム配信なども構想中です。

まずはこのコンパクト技術を2027年横浜GREEN EXPOで披露予定です。日本文化の一つを担う日本酒は“国酒”です。酒造りを通じて日本の産業を支えながら、次世代へと日本酒文化をつなげていきたいと考えています。

しかし・・・

日本酒ブームと言われる中の「酒蔵問題」

酒蔵が置かれている環境

- ・市場の縮小
- ・期間生産による大量生産
- ・過酷な労働環境
- ・大規模施設/昔ながらの機器 = 維持困難

170万ℓ (昭和48年) → 42万ℓ (令和2年)

市場は大きくシュリンク

広い敷地→多大な固定資産税

古い建物が壊れにくいので壊すのが難しい

冬に生産～在庫を抱える

短期集中生産によるブラック化

維持困難な、旧弊な環境

しかし・・・

小スペース・環境配慮型の酒造りで未来に技術を伝承

コンパクト酒造の実績 -地方-

限界集落とされる地域でもクラフト蔵での醸造を開始
コンパクト設計のため、低予算・小スペースで可能

- ・徳島県上勝町
- ・徳島県小松野町
- ・鹿児島県鹿儿岛市
- ・京都市伏見区

鹿儿岛県 (おみやげの鹿儿岛)

徳島県上勝町 (農つばビジネスでおなじみ)

埼玉県秩父 (旧倉庫中学校)

→地域の特性に合わせたコンサルティングを開始

◆ニコニコ（年間目標 800,000 円）◆

4月16日（水）例会 21,000 円

昨日ドームで巨人 v.s.横浜戦を観戦してきました。ジャイアンツの完封勝ちで気分良く帰ってきました。 坂田会員

寺澤様お酒の話楽しみにしています。

白井会員

宮尾さんロータリー研修委員長、貴重なご意見ありがとうございます。 小熊会員

4/20 こども食堂実施します。中高生の参加者をご紹介いただけませんか？山田会員

【季節の挨拶】

幅田会員 勝山会員 宮尾会員

泰地会員 沖野会員 秋山会員

小室会員 百束会員 井上会員

松本会員 家里会員

■ニコニコ集計■

2024-25 年度 累計金額 756,000 円
（年間目標 800,000 円）

◆例会出席報告◆

4月16日（水）例会

出席者 15 名 ビジター・ゲスト 2 名

出席率 73.6% 前々回出席率 72.8%

◆例会予定◆

◆4月30日（水）休会

◆5月7日（水）休会

◆5月14日（水）例会

荏原警察署 署長

◆5月28日（水）例会

青少年交換生 マルゴシファー

◆6月2日（水）会員総会

国際奉仕活動について

◆報告事項 お知らせ◆

2025 年 4 月 16 日例会 会長幹事報告

【会長報告】

■京浜グループ IM について

▪ 5 月 22 日（木）15:00～ 式典/講演会/座談会
18:00～ 懇親会

▪ 会場 スマイル大森 地下 2 階 多目的室大

▪ テーマ 「論語と算盤」とロータリー

移動例会となりますので皆様ご参加の程お願いいたします。なお、登録料は式典講演会に関しましてはクラブ負担、懇親会ご参加の方は自己負担となりますのでよろしくおねがいたします。

■4 月 16 日例会ビジター ゲスト

卓話講師：寺澤善実様

坂田会員ゲスト：大田中修一様



論語と算盤とロータリー
2025/05/22 14:00～

2025-26 年度 RI 会長・テーマ紹介

マリオ・セザール・マルティンス



デ・カマルゴ 2025-26 年度 RI 会長

2025-26 年度テーマ

「良いことのために手を取りあおう」



4 月は環境月間です

4 月は「環境月間」です。

ロータリーは、人類共通のレガシーである「環境」を守ることが重要だと信じています。

ロータリーは、天然資源の保全と保護を促進し、環境の持続可能性を高め、人と環境との調和を促す活動を支援します。

補助金やその他のリソースを提供し、地域特有のソリューションと革新を奨励しながら、気候変動と環境、破壊の原因、およびその影響の削減に取り組みます。



環境

